

1 令和6年度 平田小学校経営全体構想

義務教育の目的

「自立的に生きる」「社会とかかわる」

育てたい資質（新学力観）

- ①生きてはたらく知識・技能
- ②未知を解決する思考力・判断力・表現力
- ③学びに向かう力・人間性

第6次山形県教育振興計画（後期）

人間力に満ちあふれ、
山形の未来をひらく人づくり

【めざす人間像】

- ・いのちをつなぐ ・学びを活かす
- ・地域を創る

酒田市の教育目標

学び合い、ともに生きる、
公益のまち 酒田の人づくり

- 1 学びを生かす
- 2 自他を尊重する
- 3 ふるさとを担う

学校教育目標

高い志を持ち、たくましく生きる子どもの育成

「自分から」

「温かさ」

<学校経営の基本方針>（教育効果を高めるスパイス）

「自分から」「温かさ」に支えられた心と学びの「自立」

<学校研究の重点> 学びを「つなぐ」単元づくり

～「自分から」の発想で主体的に学ぶ、互いの考えを「温かく」つなぎ合う～

視点①子どもが自ら学びたくなる魅力的な課題設定

（目指す単元末の振り返りの実現に向けて意図的に）

視点②子どもが自ら学びを意味づける振り返りの設定

めざす子ども像

（学校・家庭・地域の願い）

- ①自分で考え、「自分から」取り組む子
- ②「温かな」心を持ち、誰とでも明るい会話（反応）ができる子、歌声を響き合わせる子
- ③困難なことにぶつかっても、のり越えようとする子
- ④危機を予測し、健康で安全な生活ができる子

	【学びの自立】 ＜自分から進める 探究的な学びづくり＞	探究＝主体的	【心とくらしの自立】 ＜温かさのある よりよい生き方探し＞
経営構想の具現化に向けた 今年度の重点	<ul style="list-style-type: none"> ①安心して学び合える学習集団づくりと基礎基本の確実な定着 <ul style="list-style-type: none"> ・安心して学び合える学習集団づくり ・基礎基本の確実な定着 ・一人一人の学習傾向とニーズを意識した学習指導 ②思考の活性化を図る言語活動 <ul style="list-style-type: none"> ・論理的な話し方・聞き方の育成 ・情報を正しく読み取る力（リーディングスキル）の育成 ・効果的な言語活動（アウトプット）の場の設定 ③自分から取り組み、解決力を育てる「深い学び」を重視した授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・学校研究「課題とふりかえり」を意識した探究的な授業 ④情報活用力の育成と読書活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力（スキル）の向上、調べ学習活動の充実 ・ICT活用能力の向上、情報モラル教育の充実 ・読書への関心を高め、活字に親しませる読書活動 ⑤自他を大切に、共により良く生きるための道徳教育 ※太字：特に力を入れて取り組む 		<ul style="list-style-type: none"> ①「つながる力」「自尊感情」を高める温かな集団づくり <ul style="list-style-type: none"> ・他者理解、相互信頼、自己肯定感を高める集団づくり ・相手と適切につながり合うスキルの向上・意識化 ②「解決力」「のり越え力」を高める活動づくり <ul style="list-style-type: none"> ・協働で解決する活動の充実 ・「自分ごと」として、自分の考えを持って解決していく活動の充実 ③健康に生活するための生活習慣の定着を促す健康教育の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアコントロール（適正な利用の仕方） ・生活リズムづくり（早寝早起き等の生活習慣） ④「のり越え力」「自尊感情」を高める体育指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・教科体育の充実 ・体力向上に資する取り組みの実施（含環境整備） ⑤命を守るための知識と判断力を高める安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・自己判断力を高める避難学習 ・内発的動機付けを重視した生活能力の向上 ※太字：特に力を入れて取り組む
めざす子どもの姿・つきたい力	学校での子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> ○解決型・探究型の学習サイクルにそって、学習課題を解決することができる。 ・解決のための自分なりのアイデアや自己目標を持つ。 ・解決方法をふり返ることができる。 ・生活への適用力を高めることができる。 		学校での子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> ○解決型の活動サイクルにそって、生活課題を解決・向上することができる。 ・自分なりの考えをもち、よりよい生き方を探し出そうとする。 ・解決のための自分なりのアイデアや自己目標を持つ。
	家庭・地域での子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> ○学校での学習と接続・連動した家庭学習を行い、実生活への適用を深めることができる。 ○積極的に本を手に取り、読書を楽しむことができる。家族で本に向き合う機会がある。 		家庭・地域での子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> ○こんな平田小・平田地区・社会になってほしいと願いをもち、行動を起こすことができる。 ○相手の気持ちを考えて、人と適切につきあうことができる。 ○自律的な生活コントロール力とタイムマネジメント力をつける。

「自分ごと」にした思考と行動

「温か」で、高め合える協働

【めざす学校像と指導姿勢】

**子どもの将来の姿を思い浮かべ、
よりよい種を蒔く平田小学校の教育**

- ◆子どもたちが生き生きと活動し、成長を実感できる学校
 - ・児童一人一人を大切に温かさの中に、個性と能力を伸ばす確かな授業力（温）
 - ・子どもが自分からやろうとし、考える場のある教育活動の展開（自）
- ◆子ども・保護者・教師がともに満足感をもつことができる学校
 - ・自分のよさ、友だちのよさを活かしてつながり合える指導（温）
 - ・子どもと家族の声を受けとめ、願いや思いへの寄り添い（温）
 - ・自らの発想で教育活動を創造し、学校運営を支える（自）

【教育目標に近づける教職員像】

- ①豊かな発想と情熱を持ち、資質向上に努める教職員（熱意）
- ②子どもに夢と学ぶ意欲を育む教職員（創意）
- ③自ら最良の範となり、温かな目線で、よりよい生き方に気づかせていく教職員（師表）
- ④子どもと家族の声を受けとめ、思いに配慮できる教職員（誠意）
- ⑤組織としての協働性・貢献性と意思疎通を大切にする教職員（協同）

※今年度の重点